

# レファレンスだより 2025年8月号 No.272

福岡市総合図書館 図書サービス課 図書資料係 ☎092-852-0632

図書館では、情報を求める利用者に対して、図書館の資料と機能を活用して調査のお手伝いをする「レファレンスサービス」を提供しています。法律相談や物品鑑定などお答えできない質問もあります。「レファレンスだより」は、実際に寄せられた質問について、総合図書館が回答した事例の一部を紹介する情報紙です。

## ■レファレンス受付件数（2025年5月分）

| 参考  | 人文   | 社会   | 自然    | 郷土・文書 |
|-----|------|------|-------|-------|
| 80  | 1122 | 225  | 173   | 215   |
| 国際  | 国連   | こども  | ポピュラー | 合計    |
| 289 | 66   | 1347 | 948   | 4465  |

（開館日 27日 一日平均 165件）

## 今月の特集！

### シーサイドももち

今から30年ほど前、福岡市西郊の埋め立て地に「シーサイドももち」というまちが誕生しました。総合図書館はこの地に1996年に開館しています。今月は、人びとの楽しみや交流が詰まったまち「シーサイドももち」に関する本を紹介します。

元寇防塁、海水浴場、博覧会と  
いった「ももちの歴史」を紹介

『シーサイドももち 海水浴と博覧会が開いた福岡市の未来（新修福岡市史ブックレット・シリーズ）2』（福岡市史編集委員会／編集 福岡市 2022年）1階ふ 89

福岡市博物館の常設展示を  
紹介した公式ガイドブック

『FUKUOKA アジアに生きた都市と人びと』（福岡市博物館／編集 福岡市博物館 2013年）1階ふ 89

「サザエさん通り」や「百道海水浴場  
跡の碑」についての記述があります

『福岡路上遺産〔1〕：身近に残る歴史の痕跡』（Y氏／著 海鳥社 2016年）1階ふ 89

シーサイドももちのシンボル  
「福岡タワー」についての記述があります

『ニッポンのタワー LOVE TOWER!』（豊科 穂／監修 朝日新聞出版 2012年）1階ポ 61  
『日本のビルベスト 111』（@関西人・中谷 幸司／著 エクスナレッジ 2024年）2階郷土 K9

## ～シーサイドももちと福岡市博物館～

1989年にシーサイドももちで開催されたアジア太平洋博覧会（愛称：よかトピア）では、福岡市博物館も会場になりました（博覧会時はテーマ館で、1990年に博物館として開館）。収蔵品は、国宝・金印や、織田信長から黒田孝高（如水）が授けられた国宝の刀「へし切長谷部」、黒田節でおなじみの名鎧「日本号」などが有名です。開館から三十余年、はじめての大規模リニューアルを計画中です。いったいどんな博物館に生まれ変わるのか、今から楽しみです。





質問：仏教用語である「三毒」について知りたい。

その象徴とされる動物の絵があるが、それも見たい。(人文科学)



回答：以下のような資料があります。

■「三毒」の意味について

- ①『岩波仏教辞典』第3版（中村 元[ほか]／編集 岩波書店 2023年）2階C9 R188.33/1  
「三毒」の項目に「衆生の善心を害する、もっとも根本的な3種の煩惱を毒にたとえたもの」とあり。
- ②『仏教日常辞典』（増谷 文雄／著、金岡 秀友／著 太陽出版 1994年）2階C9 R188.33/7  
「善根を毒する三つの煩惱。貪（とん）瞋（しん）痴（ち）のこと」とあり。
- ③『日本国語大辞典 第6巻 さこう-しゅんひ』（小学館国語辞典編集部／編集 小学館 2001年）2階C1 813.1/2  
「貪欲（どんよく）・瞋恚（しんに）・愚痴（ぐち）の三つの煩惱」とあり。

■「三毒」の象徴とされる絵

- ④『仏教』（アニータ・ガネリ／著、佐藤 正英／監訳 ゆまに書房 2004年）1階ポ70 180/g  
p.15 輪廻について描かれたチベットの絵の中心部に「三毒」の象徴が描かれている。  
「三種の最大の罪」として「貪り（豚）」、「怒り（蛇）」、「迷い」（鶏）」が示されている。



質問：世界でカレーを食べるときに使われる皿、容器、葉などがまとめられた書籍があるか。

(社会科学)



回答

①以下の資料をご覧ください。

- 『世界のカレー図鑑』（地球の歩き方編集室／編集 地球の歩き方、学研プラス(発売) 2022年）分館所蔵 383.8/t  
P118、119で「世界のカレーの器」が紹介されていました。カレーを盛り付けた写真に、そのカレーが食べられている国名と器の解説が少し載っていました。
- 『世界の食文化 8 インド』（石毛 直道／監修、大塚 滋／[ほか]編集委員 農山漁村文化協会 2006年）2階D19 383.8/t  
付章「台所用品と器具」P262、263で、インドのみですが料理を盛り付ける金属製大皿と椀の説明がありました。モノクロで小さい写真が載っていました。
- 『ニッポンカレー大全』（水野 仁輔／著 小学館 2009年）1階ポ66 383.8/ミ  
「有田焼のカレー皿」という章があり、解説とモノクロで小さい有田焼のカレー皿の写真も載っていました。
- ②インターネット上の情報も見つかりました。  
○「ニシキヤキッチン」のホームページ内の「よみもの」にカレー雑学があり、2024/7/26Friの記事「インドカレーの食器に注目!お皿の種類や素材、用途を解説」の中で、インドカレーを盛り付けるお皿についての解説がありました。  
<https://nishikiya-shop.com/column/171?srsId=AfmB0oo2x2uh-US2S06qp4UnP6A9Is0Uvhn9iCdriGaZ1Hgwe9Q-cgrr> (2025年6月26日確認)
- 「訪日ラボ」ホームページの「インバウンドニュース」の中で「インドカレーの食器はなぜ「ステンレス」なのか：意外と知らない宗教的・実利的なワケ」という記事がありました。  
<https://honichi.com/news/2020/09/15/indiancurrydish/> (2025年6月26日確認)





質問:BGMの効果について書かれた本を紹介してほしい。(自然科学)



回答:以下の図書をご紹介しました。

- ①『音のチカラ』(岩宮 眞一郎/著 コロナ社 2018年) 2階 E7 424/1  
全般にわたって音の魅力について触れているが、中でも「1 音の感性的側面に迫る」「2 製品音の快音化とその評価」の章では、音や音楽の効果について言及されている。
  - ②『「音」と身体(からだ)のふしぎな関係』  
(セス・S.ホロウィッツ/著, 安部 恵子/訳 柏書房 2015年) 2階 E8 491.37/ホ  
「第7章 耳にこびりつく音」と「第8章 耳を通して脳をハックする」においては、音楽が人の感情を記憶に焼き付けるために使われることについて論じられている。
  - ③『音の環境心理学』(難波 精一郎/著 NEC クリエイティブ 2001年) 閉架書庫 141.22/ナ  
「第3章 音と感情」で音色の印象等について言及している。
  - ④『心理音響学』(E. ツヴィッカー/著, 山田 由紀子/訳 西村書店 1992年) 閉架書庫 141.22/ツ  
第2部で、音の(ピッチ)感覚の尺度、音量の感覚の尺度について記述あり。
- ※『音響技術 2019年6月号』P.82-88「オフィスのBGM効果について」当館未所蔵のため近隣の大学図書館が所蔵していることを紹介(取り寄せは不可)。ご自身で大学図書館への確認をお願いしました。



質問:お寿司のネタや作り方がわかる中国語や韓国語で書かれた本を見たい。(国際)



回答: 以下のような資料があります。

【中国語】

- ①『中国語と日本語で紹介する寿司ネタの魚がわかる本』(野村 祐三/著 講談社 2017年)  
江戸前をはじめとするにぎり寿司の代表的なネタの魚 58種をカラー写真と共に紹介。
- ②『常見日本料理一本全』(張 瑞文/著 汕头大学出版社 2009年)  
日本料理の種類として、稲荷寿司、巻き寿司、ちらし寿司、手巻き寿司を紹介。にぎり寿司については代表的な23種をカラー写真で掲載。
- ③『日本料理大全: 日式料理/点心/便当』(張 瑞文/著 汕头大学出版社 2006年)  
稲荷寿司、手巻き寿司などの作り方を紹介。

【韓国語】

- ①『스시수첩』(사카모토 가즈오/지음 이은경/옮김 우듬지 2009年)  
江戸前ずしの代表的な握りずし 94貫とそのタネを、すし名、英語名、旬、水揚げなどの産地情報等に基づいた主産地などと共に紹介。
- ②『일본 스시장인에게 배우는 스시의 기술: すし』(메구로 히데노부/지음 용동희/옮김 그린북 2014年)  
寿司の基本の握り方から始まり、何十種類もの魚介類の仕込みの処理の仕方や調理の仕方など、手作りの技法をそれぞれのネタごとに写真入りで解説。

【WEB】

- ・北海道運輸局が北海道洞爺湖サミットの開催を機に、北海道を訪れる外国人のために作成した寿司ガイドブックがある。

([https://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/kankou/gaikokuzin/sushiguide/index\\_sushiguide.html](https://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/kankou/gaikokuzin/sushiguide/index_sushiguide.html))



## 今月の一冊！

### 『世界の賞事典 2015-2024』

(日外アソシエーツ株式会社／編集 日外アソシエーツ 2025 年) 2 階 E4 R377.7/t/

これまでに『世界の賞事典』『世界の賞事典 2005-2014』の2冊が刊行されており、今回はその続きが刊行されました。収録されている賞の数も50→60→73と増加していて、前版では少なかったスポーツの賞やアジアの賞が追加で掲載されています。

日本人が世界的な賞を受賞した場合はメディアで大きく取り上げられますが、賞にはどのような歴史があるか、過去にどのような人が受賞したか等、詳しく報道されることはあまりありません。この本では、賞の由来、趣旨、主催者などの概要や歴代の受賞者が掲載され、詳細に知ることができ、さらに人名索引もあるので人物から調べることもできます。

**使ってみました**⇒「東京国際映画祭」について調べてみました。

「東京国際映画祭(以下 TIFFF)は日本で唯一の国際映画製作者連盟公認の国際映画祭。1985(昭和60)年、日本ではじめて大規模な映画の祭典として誕生した TIFFF は、日本およびアジアの映画産業、文化振興に大きな足跡を残し、アジア最大級の国際映画祭へと成長した。(以下略)」

今では開催時には大きなニュースになるほど、注目を集めるイベントですね。2024年は、日本が製作国となる作品としては2005年以来久しぶりに吉田大八監督の「敵」がグランプリを受賞しています。



## 総合図書館 専門図書のご案内

読んでみたい本がありましたら、気軽にお尋ねください。

|        | 書名                                     | 著者名                | 出版者     | 請求記号     |
|--------|----------------------------------------|--------------------|---------|----------|
|        |                                        |                    |         | 資料番号     |
| 人<br>文 | 修験道大系 歴史・思想・儀礼                         | 宮家 準／著             | 春秋社     | 188.59/ミ |
|        | 近代日本のピアノの普及<br>書店・私鉄・住宅から読み解く          | 齊藤 紀子／著            | 港の人     | 763.2/サ  |
| 社<br>会 | 東ティモール<br>独立後の暮らしと社会の現場から              | 福武 慎太郎／編著          | 彩流社     | 302.24/フ |
|        | 社会的孤立へのコミュニティソーシャル<br>ワーク実践 地域福祉推進の羅針盤 | 加藤 昭宏／著            | ミネルヴァ書房 | 369.16/カ |
| 自<br>然 | 星の文化史 世界 13 地域における星の知<br>識・伝承・信仰       | 後藤 明／編著            | 丸善出版    | 440.2/ジ  |
|        | 近代万博と茶<br>世界が驚いた日本の「喫茶外交」史             | 吉野 亜湖,<br>井戸 幸一／共著 | 淡交社     | 619.8/ジ  |



## 今月の展示 ～総合図書館2階 主題別(専門書)・国際・国連 展示のご案内～

毎月5つの部門でテーマ展示をしています。貸出も可能ですので、ぜひご覧ください。

《人文科学》 **平和を考える**

ル・コルビュジエ  
《社会科学》 **没後60年**

《自然科学》 **昭和**

《国 際》 **三島由紀夫生誕100周年**

図書館を使った  
《IF RCI》 **調べる学習コンクール**

《国 連》 **国際青少年デー**